



## 2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月31日

上場会社名 株式会社 魚力  
 コード番号 7596 URL <http://www.uoriki.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 山田 雅之  
 (氏名) 尾後貴 隆  
 TEL 042-525-5600

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	23,160	5.7	901	28.7	1,033	5.8	700	25.0
2019年3月期第3四半期	21,901	6.9	699	4.9	1,097	66.3	933	95.3

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 895百万円 (14.5%) 2019年3月期第3四半期 782百万円 (22.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	50.61	
2019年3月期第3四半期	67.89	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	18,809	15,061	80.0	1,078.79
2019年3月期	17,434	14,364	82.3	1,043.84

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 15,045百万円 2019年3月期 14,354百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		18.00		18.00	36.00
2020年3月期		18.00			
2020年3月期(予想)				18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,800	5.5	1,050	6.6	1,200	18.9	780	27.5	56.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	14,620,000 株	2019年3月期	14,620,000 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	673,663 株	2019年3月期	868,063 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	13,835,352 株	2019年3月期3Q	13,751,937 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、概して手元キャッシュ・フローが潤沢な企業による省力化・情報化、建設関連などの設備投資、また、消費増税の影響はあるものの雇用・所得環境の改善に支えられる個人消費を牽引役として緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、直近では、米国との貿易摩擦の影響を強く受ける中国をはじめとする海外経済の減速から輸出が弱含んでおり、両国対立の長期化や激化が懸念されます。この他、朝鮮半島・中東などにおける地政学リスク、欧米・香港の政治的な混乱、また、人手不足の深刻化による一部業種における供給制約の発生といった要因による景気下振れリスクが強く懸念される状況であります。

加えて、雇用情勢の改善は継続しているものの、製造業など一部に弱い動きが見られる企業収益が消費者マインドに与える悪影響が懸念されます。このような中、とりわけ生鮮食品をはじめ食品全般の低価格志向や日常的支出における節約志向は依然として根強いものがあります。

水産業界におきましては、国内での魚離れの進行、多くの大衆魚の不漁、海外における魚食の拡がりによる仕入価格の上昇など、当社を取り巻く経営環境は厳しさを増しております。一方、地球的規模において地上からの供給に代わるタンパク質の供給源として、また、国内外において拡がる健康志向などから、養殖業を含む水産業、また、水産物に対する注目度は高まっております。

このような経営環境の中、当社グループにおきましては、中期経営計画(2018-2020年度)の下、「現場の活性化・従業員満足の向上」をめざし、営業・仕入、新規事業、人材、財務といった各事業分野における基本戦略に取り組みでまいりました。特に、筋肉体質の店舗網の構築をめざし、既存店の運営を強化するとともに、業績の改善を見込むことができない一部店舗に関してはやむを得ず退店という判断を下しております。

この間、小売事業で2店舗を出店する一方、2店舗を退店し、飲食事業で1店舗を出店いたしました。これらにより、当第3四半期連結累計期間末の営業店舗数は90店舗となりました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は231億60百万円(前年同期比5.7%増)、営業利益は9億1百万円(前年同期比28.7%増)となりました。

一方、前年第2四半期及び第3四半期において海外子会社に関し持分法による投資利益を計上した影響により、経常利益は10億33百万円(前年同期比5.8%減)となりました。また、前年第1四半期において旧本社土地に関する固定資産売却益を計上した影響により、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億円(前年同期比25.0%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①小売事業

小売事業では、各地の漁港と連携した「産地直送フェア」などのイベントにより販売促進を図るなど、仕入・営業が緊密に連携し全店を挙げて拡販に取り組みました。とりわけ年末商戦が好調に推移し、2019年12月における既存店舗の売上高は対前年同月比103.1%となりました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間における既存店舗の売上高は対前年同期比101.1%となりました。

新店は、2019年5月にJR竜王駅付近、国道20号線沿いの「アマノパークス甲府バイパス店」内に「甲斐竜王店」(山梨県甲斐市)、7月に米軍横田基地の東方、都道59号線沿いの「イオンモールむさし村山店」内に「武蔵村山店」(東京都武蔵村山市)を開店しております。

一方、限られた経営資源の効率的な活用を図るため、2019年8月に「魚力市場相模原店」(神奈川県相模原市)、9月に「寿司land新宿店」(東京都新宿区)を退店しております。

この結果、売上高は211億16百万円(前年同期比5.6%増)、営業利益は9億83百万円(前年同期比20.6%増)となりました。

#### ②飲食事業

飲食事業では、前年度において、限られた経営資源の効率的な活用を図るため、また、契約満了に伴い3店舗を退店する一方、新業態「魚力食堂」を含む2店舗を開店しておりますところ、消費増税の影響も受ける厳しい環境の中、前年度に出店した新店を含め、効率的な店舗運営に努めました。今後は、新業態「魚力食堂」の展開を図る考えであります。

新店は、2019年11月にJR小田原駅に隣接する商業施設「ラスカ小田原」内に新業態である「魚力食堂小田原店」(神奈川県小田原市)を開店しております。

この結果、売上高は5億62百万円(前年同期比19.4%減)、営業損失は8百万円(前年同期は営業損失10百万円)となりました。

③卸売事業

卸売事業では、他社との競合により取引環境が厳しさを増す中、前期において、子会社の魚力商事株式会社が外食チェーンを中心とした取引先に加え、当社が行っていた国内スーパーマーケットへの卸売を担うよう営業体制を集約いたしました。このような中、国内外にわたり新規・既存取引先への営業強化を図っております。

この結果、売上高は14億32百万円（前年同期比24.4%増）、営業利益は26百万円（前年同期は営業損失10百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は103億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億88百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が14億85百万円増加したことによるものであります。固定資産は85億円となり、前連結会計年度末に比べ4億14百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券が3億42百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は188億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億74百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は37億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億89百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が6億31百万円増加したことによるものであります。固定負債は24百万円となり、前連結会計年度末に比べ11百万円減少いたしました。これは主に退職給付に係る負債が11百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、37億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億77百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は150億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億96百万円増加いたしました。これは主に自己株式の処分により2億80百万円増加、利益剰余金が2億1百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は80.0%（前連結会計年度末は82.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点において2019年5月8日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,688,317	6,037,347
受取手形及び売掛金	2,382,177	3,867,664
商品及び製品	197,728	300,053
原材料及び貯蔵品	8,877	10,727
その他	1,242,704	92,892
流動資産合計	8,519,804	10,308,685
固定資産		
有形固定資産	1,335,665	1,383,610
無形固定資産	25,230	24,673
投資その他の資産		
投資有価証券	5,899,539	5,557,272
その他	1,654,655	1,535,084
投資その他の資産合計	7,554,194	7,092,356
固定資産合計	8,915,090	8,500,641
資産合計	17,434,895	18,809,326
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,281,714	1,913,557
未払法人税等	253,147	175,507
賞与引当金	157,280	80,068
その他	1,342,150	1,554,521
流動負債合計	3,034,293	3,723,655
固定負債		
退職給付に係る負債	11,925	-
その他	24,000	24,000
固定負債合計	35,925	24,000
負債合計	3,070,218	3,747,655
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,563,620	1,563,620
資本剰余金	1,446,652	1,466,286
利益剰余金	12,483,093	12,684,713
自己株式	△1,251,503	△971,178
株主資本合計	14,241,862	14,743,442
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	80,603	278,006
為替換算調整勘定	1,281	△2,116
退職給付に係る調整累計額	31,039	25,770
その他の包括利益累計額合計	112,923	301,660
非支配株主持分	9,890	16,568
純資産合計	14,364,676	15,061,671
負債純資産合計	17,434,895	18,809,326

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	21,901,935	23,160,695
売上原価	13,183,069	13,851,375
売上総利益	8,718,865	9,309,320
販売費及び一般管理費	8,018,955	8,408,295
営業利益	699,910	901,025
営業外収益		
受取利息	5,392	49,379
受取配当金	48,625	72,903
為替差益	35,946	—
持分法による投資利益	285,980	4,640
その他	23,518	10,742
営業外収益合計	399,463	137,666
営業外費用		
支払利息	—	155
保険解約損	2,316	—
為替差損	—	5,256
営業外費用合計	2,316	5,412
経常利益	1,097,057	1,033,278
特別利益		
固定資産売却益	341,556	—
投資有価証券売却益	29,577	169,378
受取補償金	4,698	—
保険差益	1,339	—
特別利益合計	377,172	169,378
特別損失		
固定資産売却損	—	12
固定資産除却損	20,156	8,258
投資有価証券売却損	17,815	68,518
投資有価証券償還損	—	7,291
賃貸借契約解約損	19,200	4,200
特別損失合計	57,172	88,280
税金等調整前四半期純利益	1,417,057	1,114,377
法人税、住民税及び事業税	303,591	321,715
法人税等調整額	180,014	85,795
法人税等合計	483,606	407,510
四半期純利益	933,450	706,866
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△158	6,677
親会社株主に帰属する四半期純利益	933,609	700,189

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	933,450	706,866
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△81,014	197,403
為替換算調整勘定	△1,595	△1,233
退職給付に係る調整額	△27,950	△5,268
持分法適用会社に対する持分相当額	△40,383	△2,164
その他の包括利益合計	△150,944	188,737
四半期包括利益	782,506	895,603
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	782,664	888,926
非支配株主に係る四半期包括利益	△158	6,677

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	小売事業	飲食事業	卸売事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	20,003,424	697,916	1,151,928	21,853,269	48,665	21,901,935	—	21,901,935
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	—	210,958	210,958	13,950	224,908	△224,908	—
計	20,003,424	697,916	1,362,887	22,064,228	62,615	22,126,843	△224,908	21,901,935
セグメント利益 又は損失(△)	815,273	△10,958	△10,785	793,529	25,247	818,777	△118,866	699,910

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、テナント事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△118,866千円には、セグメント間取引消去△13,050千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△105,816千円が含まれております。全社費用は、主に総務・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	小売事業	飲食事業	卸売事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	21,116,976	562,684	1,432,914	23,112,575	48,120	23,160,695	—	23,160,695
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	—	148,868	148,868	13,950	162,818	△162,818	—
計	21,116,976	562,684	1,581,782	23,261,443	62,070	23,323,514	△162,818	23,160,695
セグメント利益 又は損失(△)	983,543	△8,768	26,894	1,001,669	23,763	1,025,432	△124,407	901,025

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、テナント事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△124,407千円には、セグメント間取引消去△15,070千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△109,337千円が含まれております。全社費用は、主に総務・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。